

研究発表会開催通知

(平成2年3月15日～4月30日)

研究会	日	時	会場	備考
数値解析	3月17日(土)	10:00～15:30	統計数理研	前号参照
情報システム	3月20日(火)	10:00～17:15	慶大	同上
知識工学と人工知能	3月22日(木)	10:15～17:00	機械振興会館	同上
計算機アーキテクチャ	3月23日(金)	14:30～17:00	同上	同上
コンピュータビジョン	3月27日(火)	10:00～16:30	同上	同上
計算機アーキテクチャ	4月20日(金) 4月21日(土)	13:30～17:00 9:30～11:30	高知大	下記参照
コンピュータと教育	4月25日(水) 4月26日(木)	9:30～17:00 9:30～17:00	機械振興会館	同上

◆ 第74回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 富田眞治, 幹事: 後藤厚宏, 村上和彰, 横田 実)

日 時 平成2年4月20日(金) 13:30～17:00
4月21日(土) 9:30～11:30

会 場 高知大学 人文学部 5階 会議室

〔高知市曙町 2-5-1, JR: 高知下車, 県交通バス(宇佐または高岡行き)で高知大学前下車. 高知空港から, 空港バス: はりまや橋下車, 路面電車(伊野または朝倉行き): 高知大学前下車. Tel. 0888 (44) 0111 内 150〕

4月20日(金) —13:30～17:00—

議 題 特集: 並列/分散 OS とアーキテクチャ

- (1) KL1 における永久中断ゴールの検出・報告 大西 諭, 稲村 雄 (ICOT)
〔概要〕 並列論理型言語 KL1 において, 実行中に発生する永久中断ゴールを検出・報告する手法について述べる.
- (2) 並列推論マシンにおける KL1 の実行制御方式
—分散ゴール管理の課題と対策—
川合英夫 (ICOT), 仲瀬明彦 (東芝), 今井 明, 後藤厚宏, 六沢一昭 (ICOT)
〔概要〕 共有メモリと分散メモリの両者を含む並列推論マシンにおける KL1 のゴールの実行制御方式について述べる.
- (3) 可変構造型並列計算機の並列オペレーティング・システム
—プロセス管理とメモリ管理—
恒富邦彦, 草野和寛, 福澤裕二, 福田 晃, 村上和彰, 富田眞治 (九大)
〔概要〕 可変構造型並列計算機を密結合型マルチプロセッサとみなした場合のプロセス管理, メモリ管理について述べる.
- (4) ランデブと共有変数を持つ並列型言語の実行支援系
平原正樹, 岡村耕二, 縄田毅史, 荒木啓二郎 (九大)
〔概要〕 メッセージ型通信機能とメモリ共有型通信機能とを合わせ持つ Ada 言語サブセット処理系の実行支援系について
- (5) Muse におけるオブジェクトマイグレーションとポータブルホスト

寺岡文男, 横手靖彦, 所真理雄 (Sony CSL)

〔概要〕 Muse におけるオブジェクトのマイグレーションとホスト移動のサポートおよびその実現に関して述べる。

4月21日(土) —9:30~11:30—

(6) 教育用マイクロプロセッサ KUE-CHIP 神原弘之 (京都高度技術研)

〔概要〕 計算機アーキテクチャの教育用に開発したマイクロプロセッサ「KUE-CHIP」の概略と特徴について述べる。

(7) 競合プロセッサ群による配線問題の並列処理 高橋義造, 佐々木茂高 (徳島大)

〔概要〕 平面上の多数の点を一組ずつ相互に交叉しないように結合する配線問題を, 多数のプロセッサに競合させて解かせる。

見 学 高知大学 情報処理センター

*IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第10回 コンピュータと教育研究会

(主査: 有山正孝, 幹事: 雨宮幸雄, 大槻説乎, 竹谷 誠)

日 時 平成2年4月25日(水) 9:30~17:00

4月26日(木) 9:30~17:00

会 場 機械振興会館大ホール(地下2階)

議 題 知的 CAI (認知科学を含む)

* 今回の研究会は電子情報通信学会(教育工学研究会), 人工知能学会(知識ベースシステム研究会), CAI学会, 日本教育工学会との共催で開催されます。なお, 上記会告を含めた最終的なプログラムは本誌4月号をご参照願います。また, 電子情報通信学会誌3月号にも掲載されております。

◆ 第3回 音楽情報科学研究グループ

(発表件数: 3件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日 時 平成2年4月21日(土) 13:00~16:00

会 場 東京工業大学 80年記念会館 会議室

〔東京都目黒区大岡山 2-12-1, 東急大井町線・目蒲線: 大岡山下車, 徒歩1分, Tel. 03 (726) 1111 (代表)〕

議 題

(1) 事例からの編曲技能の学習 浅羽登志也 (リクルート)

〔概要〕 編曲における旋律への和音付けを, 過去の楽曲事例を用いて行う手法を提案し, システムを構築した。

(2) “Tetraktis”: Genera Common Lisp による作曲システム Iannis Zannos (東大)

〔概要〕 セルラーオートマタ等による実験的作曲を可能とする作曲システム“Tetraktis”の開発に関して述べる。

(3) あるシーケンサのデータ構造と MPU-808 について 大和 誠 (ローランド)

〔概要〕 RC-8 システムの概要, データ構造, MPU-808, 「現代の音楽展 '90」での応用例。

* 問合せ先: 増井誠生 (富士通) Tel. 03 (735) 1111 内 2408

今後の活動予定

・ 6月(日時・会場未定)

・ 8月31日(金)から9月2日(日)(東京, 合宿形式)

8月31日(金)の午後は武蔵野音楽大楽器博物館見学および懇親会, 9月1日(土)と9月2日(日)の午後は池袋 studio 200 にて現代音楽のコンサートを予定しております。奮ってご参加ください。

* 問合せ先: 平田圭二 (ICOT) Tel. 03 (456) 3193 (直通)

◆ マイクロコンピュータとワークステーション研究会

第60回 研究会開催日を当初予定4月20日(金)から**5月8日(火)**に変更します。開催場所は予定どおり機械振興会館です。

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第75回の研究会を下記のとおり開催いたします。多数の発表をお待ちしています。発表をご希望の方は、**4月27日(金)**までに研究会発表申込書に発表題目と50字以内の概要をご記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申込みください。詳細は本誌**6月号**に掲載いたします。

日 時 平成2年7月18日(水)
 会 場 沖縄残波岬ロイヤルホテル(宿泊等申込締切**6月15日(金)**)
 議 題 並列処理に関する「琉球」サマー・ワークショップ
 問合せ先 九大(総理工)情報システム 村上和彰
 〒816 春日市春日公園 6-1
 Tel. 092 (573) 9611 (内 445) FAX 092 (591) 2716
 murakami@is.kyushu-u.ac.jp

◆ データベース・システム研究会 } 合同
 人工知能研究会 }

上記2研究会は、下記のとおり合同研究会を開催する予定です。現在、**研究発表を募集中**です。発表ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。皆さまの積極的なご参加・研究発表を歓迎いたします。

日 時 平成2年11月8日(木)・9日(金)
 会 場 三田国際ビル アネックス
 議 題 データベースと知識処理, 演繹データベース, 論理データベース, 演繹・オブジェクト指向データベース, 自然言語データベース, 大規模知識ベース, エキスパート・データベース, 知識獲得と管理, 知識処理環境における永続オブジェクトの管理
 連絡先 横田一正 (ICOT) Tel. 03 (456) 3069 kyokota@icot.jp (DBS)
 石塚 満 (東大) Tel. 03 (402) 6231 内 2651 ishizuka@iis.u-tokyo.ac.jp (AI)

◆ データベース・システム研究会 } 合同
 プログラミング言語研究会 }

上記2研究会は、下記の特集テーマで合同研究会を開催する予定です。現在、**研究発表を募集中**です。発表ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。皆さまの積極的なご参加・研究発表を歓迎いたします。

日 時 平成2年9月7日(金)
 会 場 機械振興会館〔東京都港区芝公園 3-5-8〕
 議 題 **特集:「データベースとプログラミング言語」**
 ・データベースプログラミング言語, ・言語パラダイムとデータベース(オブジェクト指向など),
 ・プログラミングのためのデータベース技術の適用, ・型理論とデータベースモデル・ソフトウェアオブジェクトベース, などのテーマに関する発表を募集します。
 連絡先 田中克己(神戸大) Tel. 078 (881) 1212 (内 5228) FAX 078 (861) 8099 (DBS)
 徳田雄洋(東工大) Tel. 03 (726) 1111 (内 3213) FAX 03 (729) 1399 (PL)

*上記の各研究会に発表申込希望者は開催日の**3カ月前**までに研究会発表申込書(本誌2月号掲載)に発表題目と50字以内の概要をご記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申込みください。

年 月 日

平成 2 年度研究会（新規）登録申込書

（フリガナ）
 ○ 会員氏名 _____ 会員 No. _____
 ○ 勤務先名・所属 _____ Tel. _____
 所在地 (〒 _____) _____

○ 資料送付先（上記勤務先以外の場合のみ記入）

(〒 _____) _____

（ご希望の研究会の申込み欄に○印をつけること）

申込み	研究会名	登録費	申込み	研究会名	登録費
	自然言語処理	3,500円		ヒューマンインタフェース	3,000円
	データベース・システム	3,500円		グラフィクスと CAD	3,500円
	人工知能	3,000円		数値解析	3,000円
	記号処理	2,500円		ソフトウェア基礎論	3,500円
	ソフトウェア工学	3,000円		情報システム	3,500円
	マイクロコンピュータとワークステーション	3,000円		プログラミング言語	2,500円
	計算機アーキテクチャ	4,000円		情報学基礎	3,000円
	オペレーティング・システム	2,500円		コンピュータと教育	3,000円
	コンピュータビジョン	3,500円		アルゴリズム	3,500円
	設計自動化	3,500円		人文科学とコンピュータ	2,500円
	マルチメディア通信と分散処理	3,000円			

○ 登録費（年間） 2,500円× _____ 件, 3,000円× _____ 件, 3,500円× _____ 件, 4,000円× _____ 件
 合計 (_____ 件) _____ 円也

○ 次のいずれかの方法でご送金ください。いずれの場合も必ず登録申込書が必要です。
 なお、会社名などで送金の場合は、別途必ず個人名を事務局までお知らせください。

- 現金書留：登録費と登録申込書を同封のこと。 現金持参
 郵便払込：口座番号 東京 5-83484（払込用紙に希望研究会名を記入のこと。）
 銀行振込：第一勧銀・虎ノ門支店（普）No. 1013945 払込み日 _____年 _____月 _____日

○ 情報処理学会の請求書（通）、見積書（通）、納品書（通）が必要です。

*** 登録上の注意**

- 1) 本申込書は新規の方のみご利用ください（平成元年度に登録された方は使用できません。）
- 2) 平成元年度にいずれかの研究会に登録された方には、別途各登録者宛に「平成 2 年度研究会の登録について（お願い）」を送付いたします（3月上旬）。
- 3) 登録は**本学会員**に限ります。各研究会登録費は年間上表のとおりです。登録者には、研究会開催のつど資料を後日郵送します。
- 4) 登録は、登録費の領収をもって正式の受け付けとします。おそくとも**5月末日まで**にご登録ください。6月以降になると既刊の資料は確保しかねますので、ご承知おきください。

(社)情報処理学会 研究会係 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F Tel. 03 (505) 0505

平成2年度研究会のお知らせ

平成2年度は、下記のとおり **21 研究会**で行います。

- 年間をとおして参加の場合は登録をお願いします。(ただし、本学会員に限る。)
- 登録されていない会員は研究会当日資料代 ¥ 1,000 (学生 ¥ 500) をいただきます。(ただし、部数に制限があります。)

研究会名	主査 幹事	取り扱う研究分野の例
1 自然言語処理	○田中 穂積 田中 裕一 徳永 健伸 内藤 昭三	言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 漢字処理, 専門用語・辞書, 構文解析, 意味・文脈処理, 談話理解, 知識処理, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2 データベース・システム	○牧之内顕文 清木 康 佐藤 和洋 田中 克己	基礎理論, モデル, 設計, 言語, 質問処理, 並行処理, 分散 DB, DB プロセッサ, アーキテクチャ, マルチメディア DB, オフィスシステム, CAD DB, 知能 DB, 知識ベース, インタフェース
3 人工知能 (知識工学と人工知能)	○石塚 満 原口 誠仁 松原 吉田 裕之	問題解決, 推論, 探索, 類推, 学習, 認知過程, ニューラルネットワーク, 表現, 知識ベース, 知識獲得, エキスパートシステム, パターン理解, 自然言語理解, 知的インタフェース, 分散 AI, ファジィ理論, AI アーキテクチャ, 応用人工知能, 知識工学
4 記号処理	○竹内 郁雄 相場 亮 小谷 善行 多田 好克	<ul style="list-style-type: none"> • Lisp, Prolog, オブジェクト指向言語, LOGO 等記号処理言語の処理系, 言語仕様等に関する研究 • エディタ, ウィンドウシステム, ネットワーク等 • プログラミング環境 • 数式処理とそのシステムに関する研究 • 人工知能のための処理システムに関する研究
5 ソフトウェア工学	○原田 賢一 宇都宮 公訓 大槻 大和 大詩 和仁	設計技法, 形式的仕様, プログラム図式, プログラミング方法論, 試験・検証, ツール・開発環境, 再利用・プログラム合成, 管理, メトリックス, 人的要因・教育
6 マイクロコンピュータとワークステーション	○加藤 肇彦 氷治 義弘 森本 陽二 山田 剛	マイクロコンピュータとワークステーションの 1. ハードウェア (機械対機械インタフェース, マイクロプログラム, RISC/CISC アーキテクチャ, マルチプロセッサ), 2. オペレーティングシステム (UNIX, OS/2, POSIX, 純日本版 OS, 図形による操作, 開発支援環境), 3. 言語ならびに言語処理系, 4. 各種応用分野, 5. 他の技術分野との境界領域
7 計算機アーキテクチャ	○富田 眞治 後藤 厚宏 村上 和彰 横田 彰実	計算機システムの設計・機械・制御技術, フェームウェア技術, VLSI 向きアーキテクチャ, 応用指向・問題向きアーキテクチャ, 各種並列処理アーキテクチャ
8 オペレーティング・システム	○吉澤 康文 川島幸之助 清水謙多郎	1. OS の基礎・構造論, 2. 新 OS 構築の実例, 3. 並列・分散処理 OS, 3. 計算機システムの性能評価・解析ならびに信頼性, 5. OS の人工学的設計論, プログラミング開発環境, 6. 関連する計算機システムの諸問題
9 コンピュータビジョン	○谷内田正彦 田島 譲二 富田 文明	視覚から入力される画像や物体などに対する情報処理研究の発表の場であり, これを通じて我が国における研究の向上とその育成, 並びに, 研究者間の交流を推進する. 具体的な研究範囲は, 画像処理, ロボットビジョン, 視覚系モデル, 物体認識, 動画画像解析, 画像データベースである.

研究会名		主査 幹事		取り扱う研究分野の例
10	設計自動化	○小澤 時典	数馬 好和 村岡 道明 山田 輝彦	LSI/VLSI・プリント基板・論理装置の機能設計、論理設計・実装設計およびテスト設計の自動化に関連した分野：ハードウェア設計言語、論理・合成設計検証、テスト容易化設計、レイアウト自動設計、CAD フレームワーク、設計エキスパートシステム、CAD エンジン等。
11	マルチメディア通信と分散処理	○松下 温	水野 忠則 山崎 晴明 若山 博文	マルチメディアによる高度情報通信ネットワーク：構築技術とその応用、分散処理システムの設計と運用技術：機能分散、負荷分散等
12	ヒューマンインタフェース	○木村 泉	角田 博保 黒須 正明 小橋 史彦	1. 計算機システムのヒューマンインタフェースとその評価 2. 思考メカニズムと認知モデル 3. 日本文入力方式 4. 文書処理 5. OA とのかかわり
13	グラフィクスとCAD	○中嶋 正之	宇野 栄一 西原 清 守屋 慎次	グラフィクスのハードウェアとソフトウェア、グラフィクス言語およびシステム、グラフィクス・アルゴリズム、表示の技法、CADとCAM、コンピュータアニメーション、AIのCADへの応用
14	数値解析	○浜田 穂積	関口 智嗣 土谷 隆夫 吉原 郁夫	・数値計算の基礎アルゴリズムの開発 ・スーパーコンピュータ向き計算法 ・数式処理との融合 ・ハードウェア、言語への提案
15	ソフトウェア基礎論	○佐藤 雅彦	小野 諭巳 萩谷 昌謙 堀内 謙	・ソフトウェアの基礎理論（プログラム意味論、形式的仕様記述と検証、並行・分散計算など） ・計算モデル（論理型、関数型、オブジェクト指向など） ・プログラミングの基礎理論（プログラムの合成・変換、部分計算、デバッグなど）
16	情報システム	○伊吹 公夫	神田 茂澄 鷹野 良一 西原 良一	情報システム（OIS, MIS, 情報サービスなど）の分析、設計、構築、利用、情報ニーズ、情報・データの管理などの理論と実際、情報システムと人間・組織、社会
17	プログラミング言語	○笈 捷彦	上田 和紀 徳田 雄洋 戸村 哲	・プログラミング言語の基礎理論、設計、標準化 ・言語処理系の理論と実際 ・プログラミングの諸概念（データ構造、並行処理等） ・プログラミング支援環境
18	情報学基礎	○有川 節夫	岩野 和生 根岸 正光 吉田 郁三	1. 情報の表現、認識、分類、評価の手法など 2. 情報の標準化、流通、管理の方式など 3. 大量のマルチメディア情報、文字情報、非文字情報の取扱など
19	コンピュータと教育	○有山 正孝	雨宮 幸雄 大槻 説乎 竹谷 誠	1. 知的教育システム（①知的要素技術の基礎的研究、②知的教育システム開発の実践的研究、③知的インタフェース）2. 情報処理教育（①カリキュラム開発、②教育技法）
20	アルゴリズム	○西関 隆夫	浅野 孝夫 岡本 栄司 安浦 寛人	1. グラフ、ネットワーク、VLSI などに関する離散アルゴリズム 2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号、符号などの数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズム、近似アルゴリズム 5. 並列アルゴリズム、分散アルゴリズム、ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造 7. 計算複雑さの理論
21	人文科学とコンピュータ	○杉田 繁治	小沢 一雅 及川 昭文 洪 政国	1. 人文科学、博物館・美術館への情報処理、コンピュータの応用要素と実現技術 2. 人文科学系ユーザにとって柔軟なユーザ・インタフェースの実現要素と技術 3. 情報処理と人文科学系間での学際的協力 4. コンピュータ、情報処理の社会的側面

全国大会講演論文集の分冊・分売化と付随する諸事項の改定について

昨年、ご協力を得まして会費等を改訂し、財政改善へ向け、一応の対策を講ずることができました。しかしながら、現在の学会の財政体質は悪化への要因を多数かかえており、恒常的に不健全な状態にあります。現在、財務委員会を特設し、抜本的な体質改善への諸方策を策定しつつあります。その諸方策の一つとして、全国大会講演論文集の分冊・分売化とそれともなう諸料金等の改定を実施いたしたく、ここにご案内させていただきます。この改定も関連他学会のレベル以下であることをお含みおかれ、学会の発展と全国大会の活性化のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

主 旨

第 41 回全国大会（平成 2 年後期）から、講演論文集の分売制を導入いたします。これにともない、論文集の分冊の適正化をはかり、あわせて参加費、講演参加費、論文集価格の見直しを行います。これにより大幅な赤字状態にある全国大会運営収支の財政を改善するとともに、全国大会の一層の充実と大会参加者へのサービスの向上をはかります。

現状の問題点

① 不健全な運営収支

全国大会（前期、後期）の収支は、事務局職員の経費を除きますと、年間を通じ一応バランスするという状態にあります。しかし、この経費を入れますと大幅な赤字となり、しかも近年この赤字幅が増加する傾向にあり、学会財政に大きな負担となってきております。

② 敬遠されはじめた大部の論文集

論文集は物理的な限界から 3 分冊にはなっておりますが、全情報を提供するという方針から、常にひとまとまりとして扱ってまいりました。しかしながら、最近この大部の論文集が歓迎されなくなってきております。大部ゆえに、持ち運びにいたって不便なものとなり、事前発送等のサービスもできぬままになっております。一方、情報処理分野の急速な拡大と進展の中で、各人がとりあえず論文集に求める情報は自分の専門領域の周辺に限られたものとなってきております。したがって、大部の論文集も多くは大量の紙束として扱われているのが現状であります。各人には分野ごとの手軽な冊子を、論文集全体は図書室等の共用施設にあるという形態が望まれるようになってきています。この傾向は、分冊・分売化を積極的に行っている他学会の実績からも明らかであります。

改定事項

大会参加者各人の負担は変らぬこと、あるいは下がることを原則に下記のように諸事項を改定いたします。ただし、論文集のセット売り価格が大幅に変わりますので、購入担当者の方はご注意ください。なお、すべてにわたって予約受付を行いますので積極的にご利用ください。

	今回改定	従 来		今回改定	従 来		
参加費	会 員	1,000円	1,000円	論文集価格 1冊予約価 4,000円 (送料込み)	分売不可		
	学 生	0円	1,000円			1冊定 価 6,000円 (送料込み)	分売不可
	非会員	2,000円	2,000円				
講演参加費	会 員 1頁論文	(原則 2頁)	6,000円	セット売り予約価 24,000円 (送料込み)	5,000円 (送料別)		
		7,000円					
	学 生 1頁論文	(原則 2頁)	7,000円	セット売り定 価 36,000円 賛助会員価格 一般会員価格 と同額	6,000円 (送料別)		
		4,000円				3,000円 (送料別)	
		7,000円					4部以上 5,000円 (送料別)
2頁論文							
論文集分冊数	6分冊	3分冊	大会参加の予約受付	予約受付	予約不可		
			論文集の事前発送	事前発送	なし		

情報処理学会 第41回 全国大会実施要領

情報処理学会第41回全国大会（平成2年後期）から前ページの要領で開催することになりました。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出してください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

開催期日 平成2年9月4日(火)～6日(木)

会場 東北大学教養部（仙台市青葉区川内）

- 日程一覧**
1. 講演発表用原稿用紙等の請求
学会誌本号（Vol. 31, No. 3）掲載の請求書に記入して、応募規程 IV.1 の申込方法により請求してください。
 2. 原稿用紙等の送付
請求書を4月23日(月)に締切り、事務局から「論文原稿用紙」等をお送りします。
 3. 講演論文等の提出
講演論文原稿および登録原稿等を一括して**5月25日(金)**までに、学会事務局に必着するように提出ください。応募規程 IV.2 参照。なお、5月25日に持参する方は、機械振興会館6階69号室にて受付けています。締切りに遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。
 4. プログラム編成委員会の開催
講演論文等を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。
 5. 講演発表者には講演番号を**7月上旬**に到着するようご通知いたします。
 6. 大会プログラムを学会誌8月号（Vol. 31, No. 8）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

応募規程

- I. 講演内容
 1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 2. 発表は日本語または英語とします。
- II. 応募資格
 1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
 2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
 3. 平成2年度会費未納の会員は発表できません。
 4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、学術奨励賞の表彰対象者にはなれません。
- III. 講演論文該当分野
 1. 情報科学一般
 - A. 一般
 - a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他
 - B. 社会
 - a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他
 - C. 教育
 - a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他
 2. 基礎理論及び基礎技術
 - A. 情報数学
 - a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他

- B. 情報理論及び OR
 - a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他
- C. データ解析
 - a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他
- D. 数値計算
 - a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
- E. シミュレーション
 - a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
- 3. 人工知能及び認知科学
 - A. 基礎理論
 - a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクションイズム, i. その他
 - B. 人工知能システム
 - a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
 - C. 自然言語処理
 - a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
 - D. パターン認識
 - a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
 - E. 生体情報処理
 - a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
 - F. 感性情報処理
 - a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
- 4. データ処理
 - A. 音声処理
 - a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
 - B. 画像・図形処理
 - a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
 - C. テキスト処理
 - a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
 - D. マルチメディア処理
- 5. ソフトウェア
 - A. 基礎理論
 - a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
 - B. プログラム言語及び仕様記述言語
 - a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
 - C. 言語処理系
 - a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
 - D. ツール
 - a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
 - E. オペレーティングシステム
 - a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク

- 管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
 - a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
 - a. データ構造, b. ガーベッジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他
- 6. ソフトウェア工学
 - A. 開発技術
 - a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他
 - B. テスト・保守
 - a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他
 - C. ソフトウェアプロセス
 - a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
 - D. 開発環境
 - a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他
 - E. ヒューマンファクタ
 - a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他
- 7. ハードウェア
 - A. 基礎理論
 - a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
 - B. 論理回路
 - a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
 - C. デバイス
 - a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他
 - D. アーキテクチャ
 - a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他
 - E. 周辺・端末
 - a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
 - F. 設計技術及び設計自動化
 - a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他
 - G. 開発環境
 - a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他
 - H. テスト・検証
 - a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他
- 8. ネットワーク
 - A. 通信技術
 - a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他
 - B. ネットワーク管理
 - a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他
 - C. コンピュータネットワーク
 - a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

9. システム

A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

B. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

C. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

D. システム評価

- a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

10. 信頼性と安全性

A. 信頼性

- a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他

B. 機密保護

- a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

11. 応用

A. 企業等への応用

- a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算センタ運営, h. 教育, i. その他

B. 工学等への応用

- a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

C. 芸術等への応用

- a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

IV. 申込方法

1. 本号みどりのページ掲載の「**全国大会講演発表用原稿用紙等請求書**」に必要事項を記入して申込むこと。
2. 講演論文原稿および登録原稿等を添えて申込むこと。
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、原稿等をまとめて送付すること。

V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、原稿等をまとめて送付すること。

VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は**7,000円**、学生は**4,000円**です。
2. 講演論文原稿等を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

VII. 論文提出

1. 論文は、**5月25日(金)**(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力することになりました。所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文提出後の訂正は原則としてできません。

ただし、やむを得ない事情で訂正（本文の訂正に限ります）をしたい場合は、**6月15日（金）**一日（午前9時から午後5時まで）に限り、学会事務局2階にて訂正を受付けます。なお、郵便、電話等による訂正はできませんのでご注意ください。

VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会（プログラム編成委員会）が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお薦めします）。

IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を事前に郵送します。

X. 発表論文の別刷はいたしません。

XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた講演者控で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理（読）は認めません。

XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

第 41 回 全国大会講演発表用原稿用紙等請求書

1. 発表を希望する者は氏名、住所、請求部数を記入して申込みこと、返送用宛名用紙にも同様に記入のこと。
2. 原稿用紙等の送料として1組希望の場合は郵便切手175円、2組以上の場合は1組増すごとに75円添付のこと。
3. 申込みは本用紙のコピーを郵送のこと。
4. 本号掲載の実施要領をよく読んで請求してください。
5. 返信用封筒はいりません。

氏 名 _____ Tel. _____

住 所 _____

請求部数 2 ページ発表…… _____ 組請求します。

(切り取らずにお申込みください)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	(氏名) (住所)
情報処理学会第41回全国大会 原稿用紙在中	
2 ページ発表 組	殿

学術奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る3月14日～16日に早稲田大学・理工学部で開催される第40回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第40回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 戸田副会長）で行い、その発表と表彰は本年9月に開催の第41回全国大会（東北大学）時に行われる予定です。

記

選定範囲および推薦数

第40回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

推薦資格 本学会正会員に限る。

推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください。

推薦締切 平成2年3月31日（当日消印有効）

表 彰 規 程 (抜 粋)

第5章 学術奨励賞

第19条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 学術奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1名につき20,000円とする。

平成2年度各種行事の予定について

4月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご注意ください。

行 事	期 日	会 場
第32回 通常総会	5・16 (水)	機械振興会館
創立30周年記念祝典	6・18 (月)	虎の門パストラル
創立30周年記念国際会議 (InfoJapan '90)	10・1 (月)～5 (金)	京王プラザホテル
第41回 全国大会	9・4 (火)～6 (木)	東北大学教養部
第42回 全国大会	(未 定)	(未 定)
平成2年電気・情報関連学会連合大会 (共催)	8・28 (火)～30 (木)	東京理科大学工学部
<hr/>		
(シンポジウム)		
1990年並列処理	5・17 (木)～19 (土)	工業技術院筑波研究センター共用講堂
5th Joint Workshop on Computer Communications		
	7・7 (土)～9 (月)	Keishu・Korea
第23回 情報科学若手の会	(未 定)	(未 定)
ビジョンと環境理解	8・22 (水)～23 (木)	筑波大学学生会館
マルチメディア情報と分散処理	11・16 (金)	機械振興会館
グラフィクスとCAD	11・21 (水)～22 (木)	〃
コンピュータシステム	11・27 (火)	〃
情報システム	(未 定)	(未 定)
アルゴリズム	(未 定)	(未 定)
アドバンスト・データベース・システム	12・5 (水)～6 (木)	機械振興会館
第32回 プログラミング・シンポジウム 平成3年	1・8 (火)～10 (木)	箱根・ホテル小涌園
(講習会)		
情報システムの計画と設計	7・2 (月)～4 (水)	東京大学山上会館
ビジュアライゼーション	9・14 (金)	機械振興会館
(共 催)		
第21回 画像工学コンファレンス	12・11 (火)～13 (木)	ABC 会館ホール
1991情報学シンポジウム	平成3年 1・17 (木)～18 (金)	日本学術会議講堂
(国際会議共催)		
IFIP Workshop on Design & Test of ASICs	1990年 6・11 (月)～12 (火)	広島グランドホテル
Int'l. Conf. on Advanced Research on Computers in Education	7・18 (水)～20 (金)	機械振興会館
1990 Int'l. Symposium on Symbolic and Algebraic Computation	8・20 (月)～24 (金)	日大理工学部

「並列処理シンポジウム JSPP '90」開催について

21世紀に向けた新しい並列処理技術に対する期待は最近とみに高まっております。並列処理技術は専門分野間の横断的な広がりの中から新しい芽が生まれる可能性を持っています。並列処理の基礎理論、アーキテクチャ、ソフトウェア、応用などの広範な分野について、研究、開発、製造にたずさわる人、利用する人が一堂に会して議論することは、さらなる飛躍をもたらす上で有意義なことと考えます。

昨年行われた第1回の並列処理シンポジウムでは、約170名の参加者を得て活発な議論が展開され、日本の並列処理研究の水準の高さを印象づけました。第2回となるJSPP '90では、昨年に引き続き並列処理研究のトップレベルの研究発表を中心に、並列処理の核心に迫る議論が期待されております。3日間の開催期間中、51件の一般講演と2件のパネル討論を予定しております。ぜひ、多数の方々のご参加をお待ちしています。

並列処理シンポジウム実行委員会

日 時	1990年5月17日(木)～5月19日(土)
場 所	工業技術院筑波研究センター共用講堂 茨城県つくば市東 1-1-4
交 通	<ul style="list-style-type: none"> ●上野駅より常磐線、荒川沖駅下車(約1時間)、バスまたはタクシー約15分 ●東京駅八重洲口より高速バス、つくばセンター行き、並木大橋下車(1時間～1時間30分)、徒歩約10分
共 催	(社)情報処理学会 データベース・システム研究会、計算機アーキテクチャ研究会、オペレーティング・システム研究会、数値解析研究会、プログラミング言語研究会、アルゴリズム研究会
協 賛	(社)電子情報通信学会 コンピュータシステム研究会、ソフトウェア科学会
参 加 費	正会員 15,000円 非会員 20,000円 学生(大学院生) 5,000円 (論文集のみ 4,500円(送料込)) ☆共催、協賛学会員は正会員として扱います。 ☆参加費には、懇親会費が含まれています。
申込締切	1990年(平成2年)4月23日(月)
申込み先	106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム(JSPP '90) 係 Tel. 03 (505) 0505

- 注) 1. 参加申込み後の取消は、1990年4月27日までにお願いします。それ以後あるいは連絡なき場合は、参加費を徴収させていただきます。
2. 会場等の都合でお申込に応じかねる場合がありますので、申込はお早めをお願いします。

宿泊について

大会期間中の宿泊(17日夜～19日朝)は、下記のホテルについてはある程度の部屋を確保してあります。

ホテル名	宿泊料金(税、サービス料込み)	電話番号
●ホテルグランド東雲	シングル 6,830円(朝食込)	0298 (56) 2211
	ツイン 12,700円(朝食込)	
●デイリーイン筑波学園	シングル 4,944円(朝食別)	0298 (51) 0003
	ツイン 9,270円(朝食別)	
●筑波スカイホテル	シングル 5,974円(朝食別)	0298 (51) 0008
	ツイン 10,300円(朝食別)	

いずれのホテルも、原則としてマイクロバスによる送迎がある予定です。

宿泊ご希望の方は、4月23日までに、各ホテルに直接お申し込みください。その際に、並列処理シンポジウムでの宿泊である旨を伝えてください。

また、その他にもたとえば次のようなホテルなどが利用可能です。ただし、扱いは一般の宿泊の扱いとなります

のでご注意ください。

- 筑波第一ホテル (Tel. 0298 (52) 1112)
- ホテルサンルート筑波 (Tel. 0298 (52) 1151)
- ホテル諏訪 (Tel. 0298 (36) 4011)

[スケジュール表]

5/17 (木)	10:00~	受付開始		
	13:20~13:30	実行委員長挨拶 (0 D会場)		
	13:30~15:30	X 1 (1 D会場) パネル「21世紀を目指した並列処理 一超並列は可能か?有効か?」 モデレータ 小池 (日電)		
	16:00~17:30	A 1 (2 A会場) ネットワーク 座長 岩瀬 (三菱)	S 1 (2 B会場) プログラミング環境 座長 雨宮 (九大)	T 1 (2 C会場) 分散メモリ技術 座長 富田 (九大)
	18:30~20:30	懇親会 (別会場)		
5/18 (金)	9:00~10:30	A 2 (3 A会場) コントロール/データフロー 座長 柴山 (京大)	P 1 (3 B会場) 応用・評価(1) 座長 星野 (筑波大)	T 2 (3 C会場) 分散アルゴリズム 座長 野崎 (ICU)
	11:00~12:30	A 3 (4 A会場) 記号処理マシン 座長 小柳 (東芝)	P 2 (4 B会場) 応用・評価(2) 座長 清水 (三洋)	S 2 (4 C会場) プログラミング支援手法 座長 河野 (ソニー)
	14:00~15:00	A 4 (5 A会場) データフロー(1) 座長 曾和 (名工大)	S 3 (5 B会場) 言語処理システム 座長 小野 (NTT)	T 3 (5 C会場) 同期機構 座長 米澤 (東大)
	15:30~17:30	X 2 (6 D会場) パネル「並列処理が直面する課題 一正しい並列処理プログラムはどうしたら書けるか?動かせるか?」 モデレータ 後藤 (ICOT)		
5/19 (土)	9:00~10:30	A 5 (6 A会場) データフロー(2) 座長 西川 (阪大)	P 3 (6 B会場) 応用・評価(3) 座長 村岡 (早大)	T 4 (6 C会場) 計算モデル 座長 田中 (東大)
	11:00~12:30	A 6 (7 A会場) MIMD アーキテクチャ 座長 長島 (日立)	P 4 (7 B会場) ニューラルネット 座長 宮田 (シャープ)	S 4 (7 C会場) データ駆動言語 座長 上田 (ICOT)

X 1, X 2: パネル討論

T 1~T 4: 基礎理論, アルゴリズム

A 1~A 6: アーキテクチャ, ハードウェア

P 1~P 4: 応用, 性能評価

S 1~S 4: ソフトウェア

[プログラム]

5月17日 (木)

13:20~13:30 シンポジウム実行委員会挨拶

弓場 敏嗣 (電総研)

13:30~15:30 特別セッション

パネルセッション X 1 (1 D会場)

「21世紀を目指した並列処理 一超並列は可能か?有効か?」

モデレータ: 小池 誠彦 (日電)

16:00~17:30 一般セッション A1, S1, T1

セッション A1 (2A 会場) ネットワーク

座長 岩瀬 正 (三菱)

- 並列推論エンジン PIE 64 の相互結合網の {実装, 開発, 評価, 作成}

高橋 栄一, 小池 汎平, 田中 英彦 (東大)

- Hyper crossbar network におけるメッセージ自動経路迂回機能の導入 田中 輝雄, 濱中 直樹 (日立)

- 3次元光接続ネットワーク 河合 滋 (日電)

セッション S1 (2B 会場) プログラミング環境

座長 雨宮 真人 (九大)

- 協調処理モデル Cellula の分散処理系と支援環境 吉田 紀彦, 檜崎 修二, 下川 俊彦 (九大)

- 並列処理システム-晴-におけるデータフロープログラム開発環境

安江 俊明, 神館 淳, 山名 早人, 村岡 洋一 (早大)

- マルチプロセッサ・リアルタイム UNIX MUSTARD とその開発環境

広屋 修一, 桃井 武, 宮地 利雄 (日電)

セッション T1 (2C 会場) 分散メモリ技術

座長 富田 眞治 (九大)

- 並列処理によるキャッシュ操作の明示化

佐藤 正樹, 曾和 将容 (名工大)

- 疎結合並列計算機における仮想共有メモリの実現

山崎 剛, 和田 耕一 (筑波大)

- 並列計算モデル Cubemat 上でのいくつかのデータ転送操作

渋沢 進 (群馬大)

18:30~20:30 懇親会 (別会場)

5月18日 (金)

9:00~10:30 一般セッション A2, P1, T2

セッション A2 (3A 会場) コントロール/データフロー

座長 柴山 潔 (京大)

- 並列処理システム-晴-における大域記憶

山名 早人, 片山 啓, 草野 義博, 村岡 洋一 (早大)

- Datarol プロセッサの最適化設計と負荷管理方式

蘭田 浩二, 上田 哲朗, 谷口倫一郎, 雨宮 真人 (九大)

- The Architecture and Design of CP Parallel Computer

Vinod Sharma, Kouji Yamada, Masahiro Sowa (名工大)

セッション P1 (3B 会場) 応用・評価(1)

座長 星野 力 (筑波大)

- 大規模並列プロセッサによる合成開口レーダの処理

小野 誠, 葛岡 成樹, 田中 義光, 菅 隆志, 宮田 裕之 (三菱)

- 並列型画像認識システムとその応用

井上 和佳, 肥塚 隆, 有田 秀昶 (新日鉄)

- 高並列計算機の適用による大量遺伝情報解析技術の実現

内藤 公敏, 河合 正人, 岸野 敦子 (ファコム・ハイタック),

森山 悦子, 池尾 一穂, 伊奈 康夫, 五條 堀孝 (遺伝研), 池坂 守夫, 佐藤 弘幸 (富士通)

セッション T2 (3C 会場) 分散アルゴリズム

座長 野崎 昭弘 (ICU)

- 8-隣接プロセッサ・アレイによる基数4の並列 FFT アルゴリズム

丹野 州宣 (山形大)

- 多重バス結合並列プロセッサ上の最適時間ソーティングアルゴリズム

藤田 聡, 山下 雅史, 阿江 忠 (広島大)

- 実行プロファイルに基づく PIE 64 の負荷分散方式

日高 康雄, 小池 汎平, 館村 純一, 田中 英彦 (東大)

11:00~12:30 一般セッション A3, P2, S2

セッション A3 (4A 会場) 記号処理マシン

座長 小柳 滋 (東芝)

- スーパーデータベースコンピュータ SDC のアーキテクチャ

平野 聡, 原田 昌信, 小川 泰嗣, 楊 維康, 喜連川 優, 高木 幹雄 (東大)

- PIM/m 要素プロセッサのアーキテクチャ

中島 浩 (三菱)

- 連想マルチプロセッサ IXM 2

樋口 哲也, 古谷 立美, 半田 剣一, 国分 明男 (電総研)

セッション P2 (4B 会場) 応用・評価(2) 座長 清水 雅久 (三洋)

- SIMP (単一命令流/多重命令パイプライン) 方式に基づくスーパースカラ・プロセッサ「新風」の性能評価 久我 守弘, 入江 直彦, 村上 和彰, 富田 眞治 (九大)
- 並列計算機 QCDPAX による QCD シミュレーション 小柳 義夫, 岩崎 洋一, 金谷 和至, 吉江 友照, 星野 力, 白川 友紀 (筑波大) 一井 信吾 (高エネ研), 川合 敏雄 (慶大)
- 並列回路シミュレーションマシン Cenju 中田登志之, 田辺 記生, 梶原 信樹, 松下 智, 小野塚 裕美 (日電) 浅野 由裕 (日電技術情報システム開発), 小池 誠彦 (日電)

セッション S2 (4C 会場) プログラミング支援手法 座長 河野 真治 (ソニー)

- 関数型言語のための広域解析自動生成システム 小野 諭, 小川 瑞史, 鶴岡 行雄 (NTT)
- 並列プログラミング言語 Cable とその実行過程の視覚的表示について 吉田 和幸, 宇津宮孝一, 凍田 和美, 後藤 和宏, 原田 哲也 (大分大)
- 並列論理型言語による探索問題のプログラミング—Layered Stream 法の拡張— 松本 裕治 (京大), 奥村 晃 (ICOT)

14:00~15:00 一般セッション A4, S3, T3

セッション A4 (5A 会場) データフロー(1) 座長 曾和 将容 (名工大)

- データ駆動型シングルチッププロセッサ EMC-R —動作原理と実装— 児玉 祐悦, 坂井 修一, 山口 喜教 (電総研)
- データ駆動計算機 EDDEN のアーキテクチャ 三浦 宏喜, 川口 正樹, 田中 一行, 大橋 秀紀, 清水 雅久, 森 憲敬 (三洋)

セッション S3 (5B 会場) 言語処理システム 座長 小野 諭 (NTT)

- 分散メモリ並列計算機上でのジェネレーションスキャベンジング GC 小池 汎平, 田中 英彦 (東大)
- 並列論理型言語 KL1 のコンパイル方式の改良 平野 喜芳 (富士通 SSL), 後藤 厚宏 (ICOT)

セッション T3 (5C 会場) 同期機構 座長 米澤 明憲 (東大)

- 一般化されたバリア型同期機構の諸問題について 松本 尚 (日本 IBM)
- 問題が持つ先行関係のみを保証する高速な静的実行順序制御機構の構成法 高木 浩光, 河村 忠明, 有田 隆也, 曾和 将容 (名工大)

15:30~17:30 特別セッション

セッション X2 (6D 会場)

「並列処理が直面する課題 —正しい並列処理プログラムはどうしたら書けるか? 動かせるか?」

モデレータ: 後藤 厚宏 (ICOT)

5月19日(土)

9:00~10:30 一般セッション A5, P3, T4

セッション A5 (6A 会場) データフロー(2) 座長 西川 博昭 (阪大)

- プロトタイプハイブリット・データフロー計算機のアーキテクチャ 平木 敬 (IBM, 電総研)
- マクロデータフロー計算機 CODA —アーキテクチャとその評価— 戸田 賢二, 西田 健次, 内堀 義信, 島田 俊夫 (電総研)
- マクロデータフロー計算機 CODA —ハードウェア設計— 西田 健次, 戸田 賢二, 内堀 義信, 島田 俊夫 (電総研)

セッション P3 (6B 会場) 応用・評価(3) 座長 村岡 洋一 (早大)

- データ共有型並列プログラムの要求駆動型再演システムの実現と評価 高橋 直久 (NTT)
- 疎結合並列マシン Multi-PSI 上での KL1 分散処理系におけるプロセッサ間通信の評価 中島 克人 (三菱), 稲村 雄, 市吉 伸行 (ICOT)

- 並列 Lisp による ATMS の並列処理の評価
セッション T4 (6C 会場) 計算モデル
奥乃 博 (NTT)
座長 田中 英彦 (東大)
 - 非同期通信をもとにした並行プロセス代数系
山中顕次郎 (NTT)
 - μ BRAIN: コネクションズに基づく計算機構
古谷 立美, 国分 明男 (電総研)
 - 並列オブジェクト指向型言語 A'UM-90
小西 弘一 (日電), 吉田かほる (ICOT)
丸山 勉 (日電), 小長谷明彦 (日電), 近山 隆 (ICOT)
- 11:00~12:30 一般セッション A6, P4, S4
- セッション A6 (7A 会場) MIMD アーキテクチャ
座長 長島 重夫 (日立)
 - ストリーム FIFO 方式に基づくベクトルプロセッサ「順風」の構成と性能評価
弘中 哲夫, 岡崎 恵三, 村上 和彰, 富田 眞治 (九大)
 - ハイブリッド型並列処理アーキテクチャ
菅 隆志, 宮田 裕之, 磯西 徹明, 岩瀬 正 (三菱)
前田 明, 関戸 一紀, 井上 淳 (東芝)
 - 並列計算機 QCDPAX とその並列処理プログラムディバグ
白川 友紀, 星野 力, 岩崎 洋一, 小柳 義夫, 金谷 和至, 吉江 友照 (筑波大)
一井 信吾 (高エネ研), 川合 敏雄 (慶大)
- セッション P4 (7B 会場) ニューラルネット
- ニューラル・ネットのための RISC プロセッサ・アレイ
座長 宮田 宗一 (シャープ)
平岩 篤信, 黒須 茂, 有沢 繁, 井上 真 (ソニー)
 - ニューラル分割統治法による LSI モジュール配置問題の解法
小柳 滋 (東芝)
 - 並列計算機 (SM)²-II における前処理システム LS-M の応用 一学習モデル
凌 曉萍, 天野 英晴, 安西祐一郎 (慶大)
- セッション S4 (7C 会場) データ駆動言語
- 画像処理用超並列プロセッサ AMP のプログラミングと性能評価について
座長 上田 和紀 (ICOT)
山元 規靖, 堀田 正利, 谷口倫一郎, 雨宮 真人 (九大)
 - データ駆動計算機 SIGMA-1 用並列記述言語 DFC II の処理系と評価
関口 智嗣, 島田 俊夫, 平木 敬 (電総研)
 - Datarol プログラムの既存の並列計算機上へのインプリメント
高橋 栄一, 谷口倫一郎, 雨宮 真人 (九大)

「並列処理シンポジウム JSPP '90」

参加申込書

平成 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○でかこむ)

正会員, 賛助会員 15,000 円 非会員 20,000 円 学生 (大学院生) 5,000 円

* 共催/協賛学会員は正会員として扱います。下記氏名欄の後ろに学会名も合わせてご記入願います。

* 参加費には, 資料代, 懇親会費が含まれています。

○論文集のみ (4,500 円, 送料込) _____冊

○送金方法

* _____円を a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) _____月 _____日送金します。

* (b を選択したかたのみご記入ください)

b-1) 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社) 情報処理学会シンポジウム (JSPP '90) 係 Tel. 03 (505) 0505)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京
営業部 (4月1日より) 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 _____銀行宛

・送金取扱銀行名 _____銀行 _____支店より

・送金人名義 _____様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

.....きりとり線.....

(楷書でハッキリ記入してください)

〒

申込者
連絡先

氏名

()

Tel. _____

Fax. _____

第2回「統合ネットワーク管理」国際シンポジウム論文募集

- 目 的** IFIP と IEEE/CNOM 共催の国際シンポジウムであり、統合ネットワーク管理の実現に向けて、製品提供者、システム統合者、研究者および利用者間で情報交換・意見交換を行う。今回の副題は「統合管理による企業・分散システム環境における相互運用」である。なお、第1回は、1989年5月にボストンで開催され、非常に盛況であった。論文は、単行本にまとめられ、出版されている。
- 内 容** トータルシステム管理への要求条件、モデルとアーキテクチャ、OSI およびその他の標準の適用、障害、構成、会計、性能およびセキュリティ管理、サービス品質管理、管理情報の定義と格納、管理プロトコル、異機種システムの管理、管理領域の原則と実際、ネットワーク間の管理問題、AI 技術、利用者インタフェースおよび管理言語、管理のための分散オペレーティングシステム、実装およびケーススタディ。
- 論文形式** シングルスペースで A4 最大12 ページ
表紙に、Paper title, Brief abstract, List of key words, Author(s)' Full name(s), Affiliation, Complete address(es), telephone numbers, および optionally Electronic mail address を記すこと。
Tutorial, Panel discussion, Birds-of-feather session の提案も受付中
製品や計画を展示する機会も用意されている。
- 日 時** 1991年4月1日～5日
- 場 所** 米国 Virginia, Crystal City (Arlington), Marriott Crystal Gateway Hotel
- 原稿締切** 1990年7月15日 (論文審査後の採録通知は11月1日)
完成した英文の論文を8部ほど次のプログラム委員長に郵送すること。
Dr. Iyengar Krishnan
Western Hemisphere Program Co-Chair
The MITRE Corporation, W 422
7525 Colshire Drive
McLean, VA 22102, U. S. A.
- 問合せ先** NTT ネットワークシステム開発センタ通信網技術部 森野和好
100 東京都千代田区内幸町 1-2-1 日土地ビル
Tel. 03 (509) 5260 FAX 03 (597) 0462 Email morino@nttpro ntt. jp

—DASFAA '91— 論 文 募 集

高度応用のためのデータベース・システムに関する第2回国際シンポジウム
The Second International Symposium on Database Systems for Advanced Applications

1991年4月2日—4日 東京

主 催：情報処理学会 後 援（予定） Korea Information Science Society, Australian Computer Society,
Canadian Information Processing Society, Singapore Computer Society
協 賛（予定） IEEE Computer Society
ACM SIGMOD

DASFAA はデータベース技術の高度応用と先端データベース技術に焦点を当てた国際シンポジウムである。第1回のシンポジウムは1989年4月に韓国ソウルで開催され、多数の国々からの200名を超える参加者を得た。第2回 DASFAA は東京新宿の工学院大学にて開催されます。研究者・開発者・利用者の幅広い方々からの論文を募集いたします。

トピックス（以下に限りません）

- ・データベースの高度応用
- CIM データベース
- オフィス情報システム
- 医療情報システム
- エンジニアリングデータベース
- CASE のためのデータベース
- CAI データベース
- 科学計算用データベース
- 公共社会情報システム
- 遺伝子データベース
- 自然言語データベース
- ・データベース技術
- オブジェクト指向データベースシステム
- 演繹データベースシステム
- ハイパーメディア／ハイパーテキスト
- マルチメディアデータベースシステム
- 視覚的インタフェース
- データベースインタフェースツールキット
- データベースプログラミング言語
- データベース設計ツール
- 問い合わせ処理技術
- 分散データベース
- データベースプロセッサ
- 情報資源管理
- 異種データベース統合技術
- 並列データベース処理

論文応募規定 5千語までの英文論文3部を1990年9月15日までに下記あてにお送りください。
812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部情報工学科
牧之内顕文 Tel. 092 (641) 1101 内 6055
Fax 092 (641) 1101 内 5418

論文採否通知 採否は1990年12月4日までに通知されます。
最終論文締切は1991年1月15日

組 織 名誉委員長 三浦武雄（情報処理学会会長） 委員長 上林弥彦（九大）
実行委員長 増永良文（図書館情報大） プログラム委員長 牧之内顕文（九大）

「ARCE」開催について

新しい教育環境をテーマにした国際会議 ARCE が下記のように開催されます。日本の発表者 17 名に対し、外国の発表者は 14 の国から 33 名に達しています。このほかに基調講演 2 件、招待講演 5 件があり、世界の情勢を知るよい機会です。また知的 CAI の研究成果の実演も多数予定されています。ぜひご出席なさいますようお願いいたします。4 月 15 日までに登録すると登録料が割引かれます。

日 時 1990 年 7 月 18 日～20 日
場 所 学習院大学記念会館（東京・目白）

Advanced Programme 返信用切手 250 円を添付の返信用封筒を同封し、下記宛お申し込みください。

申 込 先 278 野田市山崎 2641
東京理科大学基礎工学部電子応用工学科 伊藤 絃二

IFIP・TC 3「WCCE」開催について

5 年に一度開催される世界教育コンピュータ会議 WCCE (World Conference on Computers in Education) が今年の夏にオーストラリアで、下記の要領で開催されます。多数の方のご出席をお勧めします。

日 時 1990 年 7 月 9 日～13 日 (Workshop は 7 日, 8 日)

場 所 オーストラリア, シドニー, ダーリンハーバー

申込方法 1) 自分で登録する方は情報処理学会国際係に返信用切手 175 円を添付の返信用封筒を同封し、Registration Booklet をお受取りください。3 月 31 日までに登録すると登録料が割引かれます。
2) 一括登録を希望する方は JTB 麹町支店 WCCE 係、大久保 (東京都千代田区麹町 4-3-5, Tel. 03 (239) 9286-90) にお申し込みください。3 月 24 日 (必着) までに申し込むと登録料が割引かれます。

支部だより

中国支部 専門講習会——諸分野に应用されるあいまい工学 (ファジィ) の現状と展望——

日 時 平成 2 年 3 月 27 日 (火) 9:30~17:00

会 場 KKR 広島 2 階 安芸の間 (広島市中区東白島町 19-65)

参加費 会員 5,000 円 (含資料代), 学生無料, 非会員 10,000 円 (含資料代), 定員約 100 名 (先着順)

申込方法 適宜用紙に「専門講習会「諸分野に应用されるあいまい工学 (ファジィ) の現状と展望」参加申込」と題記し、①郵便番号、②住所、③氏名、④勤務先・電話、⑤学会名を記入のうえ、3 月 23 日 (金) までに、参加費を添えてお申込みください。なお、銀行振込の場合には、振込予定日を明記のこと。

送金方法 現金書留または銀行振込 (広島銀行本店 普通: 1040494 電子情報通信学会)

申 込 先 730 広島市中区基町 6-77 NTT 中国支社 人材開発推進本部内

電子情報通信学会中国支部 Tel. 082 (226) 2791 Fax. 082 (223) 5526

プログラム

開催あいさつ (9:30~9:40)

福嶋 美文 (電子情報通信学会中国支部長)

ファジィの概要 (9:40~11:00)

阿江 忠 (広島大)

制御への適用 (適用方法の分類と事例紹介) (11:00~12:20)

春木 和仁 (東芝)

ファジィ制御とその応用 (交通関係ほか) (13:20~14:40)

松本 邦顕 (日立)

ファジィコンピュータ (14:40~16:00)

山川 烈 (九工大)

ディスカッション (16:00~17:00)

講師全員

平成2年度 第32回 通常総会の開催について

平成2年度通常総会を下記によって開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に4月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	平成2年5月16日(水) 13:20~14:50
会 場	機械振興会館ホール(地下2階)
総会次第	1. 会長のあいさつ 2. 平成元年度事業報告および決算報告 3. 平成2年度事業計画および予算審議 4. 名誉会員の推挙 5. 平成元年度功績賞の発表と表彰 6. 平成元年度論文賞の発表と表彰 7. 新役員の選定 8. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います(会場6階67号室)。会員が一堂に会し、直接にお話しできる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

本会協賛等の行事案内*

第46回 光関連技術セミナー 平成2年5月10日~6月14日(毎週木曜日)	東京・(社)日本機械学会
第47回 イブニングセミナー 平成2年5月18日~6月29日(毎週金曜日)	東京・(社)日本機械学会、他
第5回 光波センシング技術研究会 平成2年5月24日(木)~25日(金) Computer Graphics Osaka '90 平成2年6月13日(水)~16日(土)	千葉・幕張メッセ マイドームおおさか、他
第8回 設計シンポジウム 平成2年7月5日(木)~6日(金) 講習会「ファジィ制御法—理論と実際」 平成2年7月9日(月)~10日(火)	東京大学山上会館 東京工業大学百年記念館
光メモリシンポジウム '90 平成2年7月9日(月)~11日(水)	千葉・幕張メッセ
第16回「システムシンポジウム」 平成2年9月20日(木)~22日(土)	広島・グリーンピア安浦
第6回 ヒューマン・インタフェース・シンポジウム 平成2年10月24日(水)~26日(金)	東京・総評会館
第8回 日本ロボット学会学術講演会 平成2年11月1日(木)~3日(土)	仙台・東北大学
第33回 自動制御連合講演会 平成2年11月14日(水)~16日(金)	京都・京大会館

* 詳細は本号会議案内欄参照

「情報処理ハンドブック」の頒布について

昨年5月に面目を一新した新版の「情報処理ハンドブック (B5判 1,620 ページ)」を発行いたしました。情報処理・情報工学および情報科学の全分野をカバーした我が国で最も権威のあるハンドブックで、関連技術者・研究者・教育者・学生の好伴侶となり、また専門外の読者でも容易に概念がつかめ、更に深く進むための手引きとなります。まだ購入されていない会員は早速に購読されることをお勧めします。

会員には特別価格でお届けいたしますので、希望者は下記により所定の申込書(コピーにて可)にてお申込みください。なお、目次は次のとおりです。

計算の理論、システム解析の基礎、数値解析、ハードウェア、計算機アーキテクチャ、オペレーティングシステム、データ工学、コンピュータネットワーク、プログラミングの基礎、プログラミング言語の記述と処理系、ソフトウェア工学、人工知能、高水準インタフェース技術、システム論、応用システム、教育、規格と資料。

記

定 価 33,990 円 (本体 33,000 円) 送料 900 円

会員特価 28,840 円 (本体 28,000 円) 送料 900 円

申 込 先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

情報処理学会「情報処理ハンドブック」係 Tel. 03 (505) 0505 Fax. 03 (584) 7925

平成 2 年 月 日

「情報処理ハンドブック」購入申込書

下記により購入を申込みます。(該当欄を○で囲む)

1. 氏 名 _____

連絡先 (〒 _____) _____

Tel. _____

送本先 (〒 _____) _____

2. 情報処理ハンドブック (28,840 円, 送料 900 円) 冊

3. 送金の方法

¥ _____ 也を次の方法で送金します。(送金日 ____ 月 ____ 日)

a. 現金書留 b. 郵便振替 (東京 5-83484) c. 銀行振込 (_____ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739 (4月から名称が太陽神戸三井銀行) (東京営業部となります)

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. _____)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

新年度にあたって（お願い）

——会費・購読費の請求、新会員勧誘など——

新年度にあたって、会員の皆さまに会費等の納入のお願いとともに、つぎの点につき確認いただき、あわせてご協力のほどお願いいたします。

（１）平成２年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

１月下旬に会員個々に納付書（郵便振替用紙）を送付いたしました。未納の方は早急にご納入ください。また、預金口座振替の会員は**３月２７日（火）**に自動振替いたしますので、ご注意ください。

なお、平成３年度会費から預金口座自動振替を希望する会員（正会員に限る）は、所定の**預金口座振替依頼書**によりお申込みください。

（２）大学学部卒業予定の学生会員の会費

本年３月に大学学部卒業予定の学生会員には、平成２年度会費は正会員（9,600円）として請求いたします。大学院修士課程に進まれた方は、学生会員として継続できますので、会員番号を付し、大学院名・研究科名・専攻名、修了予定年月および学会誌の送本先を変更する場合はその宛先等を必ずご連絡ください。

（３）退 会

書面（様式任意、はがき可）にてお申出ください。なお、元年度会費が未納の場合には、昨年４月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

また、元年度会費未納者には、これまで再三にわたり請求いたしております。納付いただけない場合には、本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

（４）学会誌の送本先変更

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（４月号、１０月号に添付）にて会員番号を付し、早速にご連絡ください。

（５）論文誌・欧文誌の新規購読

論文誌（月刊）および欧文誌（季刊）は有料頒布です。購読を希望する会員は２月号本欄に添付の申込書を使用して、お申込みください。

新入会員勧誘のお願い

３月は入会に絶好のチャンスです。本号末尾綴込みの入会申込書（Ｂ５判）で、入会をご勧誘ください。なお、入会申込書の形式を変更しましたので、旧の入会申込書（Ａ４判）は使用しないでください。